社団法人 環境科学会 2009 年会

一般講演・シンポジウム・ポスターセッション プログラム

> 程団法人 環境科学会

社団法人 環境科学会 2009 年会

日 時:2009年9月10日(木)~9月11日(金)

会場:北海道大学工学部情報科学棟札幌市北区北13条西8丁目

http://www.ist.hokudai.ac.jp/access/

*地下鉄北12条駅からお越しの場合(徒歩 10分)

北13条門(3)から入り,銀杏並木に沿って,工学部正面入り口(4)から玄関にお進みください。

- *札幌駅からお越しの場合(徒歩25分) 正門(1)から入り,構内の掲示にしたがっ て,クラーク像(2)前を通り,工学部正 面入り口(4)から玄関にお進みください。
- *工学部玄関(7)から情報科学研究棟までは、掲示にしたがいお進みください。
- *タクシーでお越しの場合 北13条門(3)から入構し、工学部北口案 内板(5)を通って、情報科学棟までお越 しください。

参加費:事前申込制度はありません。当日,受付で 参加票に必要事項をご記入の上,下記の参 加費を添えて参加登録をお願い致します。 (講演要旨集代を含む)

> 正会員 6,000 円 準会員 3,000 円 非会員 9,000 円 非会員学生 5,000 円

懇親会:9月10日(木)18:30~20:30

北海道大学工学部食堂

会費 5.000 円 (社会人) 3.000 円 (学生)

お問合せ先:

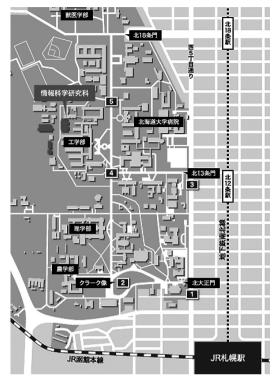
● 2009 年会実行委員会

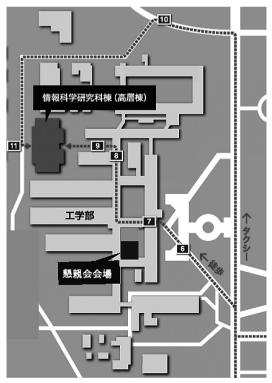
北海道大学大学院工学研究科 環境フィールド工学専攻 村尾直人 〒 060-8628 札幌市北区北 13 条西 8 丁目 TEL. 011-706-6833 FAX. 011-706-6832 E.mail: taikihs@eng.hokudai.ac.jp (お問合せはなるべく電子メールでお願いします)

●環境科学会事務局

〒 135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201

TEL. 03-3634-2942 FAX. 03-3634-2943 E-mail: idz07103@niftv.ne.ip





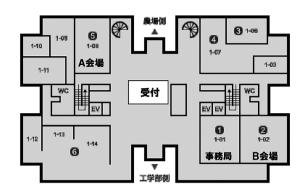
会 場 案 内

北海道大学工学部情報科学棟

一階

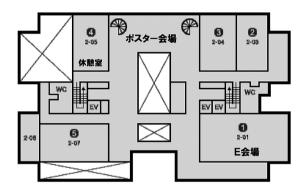


- 2 A13 講義室
- ❸ 情報科学研究科長室
- ④ 情報科学研究科事務室
- ⑤ A11 講義室
- ③ 情報図書室



二階

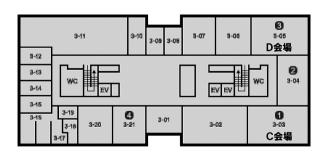
- **●** A21 講義室
- 2 A23 講義室
- ⑥ A24 講義室
- ④ A22 講義室
- 分学生自習室



三階

- A33 講義室A32 講義室
- ❸ A31 講義室
- O





発表者の方々へ

1. 参加登録

一般講演、シンポジウムならびにポスター発表、いずれに関しても、必ず参加登録を行ってください。

2. 発表時間

一般講演:15分(発表10分、質疑応答及び入れ替え5分)

シンポジウム:オーガナイザーにお問い合わせください。

ポスター発表:9月10日(木)11:00までにポスターを所定の場所に掲示ください。

コアタイムは 9 月 10 日 (木) 12:30 ~ 14:00 です。発表者の方はポスター前にお集まりください。

3. 発表方法

一般講演

- ・PC プロジェクタとパソコン (Windows) を用意します。
- ・原則として OHP は用意いたしません。
- ・持参されたパソコンの接続はできません。必ずファイルを媒体に入れてご持参下さい。
- ・媒体は CD-R USB メモリのいずれかとします。
- ・ソフトは PowerPoint2003 で、2007 のファイルは「互換機能パック」で対応します。
- · PowerPoint のファイル名には、必ず発表者の氏名を含めてください。
- ・各セッション開始の10分前までに、発表会場のパソコンにファイルをコピーしてください。必要があれば、ファイルコピーを会場係がお手伝いしますが、発表時のパソコン操作は各自で行ってください。

シンポジウム

- ・PC プロジェクタとパソコン (Windows) を用意します。
- ・持参されたパソコンの接続については、オーガナイザーとご相談下さい。
- ・媒体、ソフトについては、一般講演と同様です。その他の機器を使われる場合は、オーガナイザーまでお問い合わせください。

ポスター

- ・掲示は9:15から行うことができます。
- ・掲示に必要な鋲、テープ等は事務局で用意いたします。
- ・パネルのサイズは横 88cm×縦 198cm です。ポスターは A0 サイズ (縦) 以内でご用意ください。
- ・机や電源などの掲示板以外の設備が必要な場合は、事前に実行委員会までメールでお問い合わせください。ご希望に沿えない場合もありますのでご了承下さい。
- ・9月11日(金)16:00までに各自で撤去願います。多くの方に成果を見ていただけるよう、できるだけ長く掲示いただけるようお願い致します。
- ・掲示や撤去が規定時間内に困難な方は、あらかじめ実行委員会にお知らせいただければ、作業を代行いたします。撤去したポスターの郵送については、そのまま発送できる状態にして受付までご持参下さい。

社団法人 環境科学会 2009 年会 プログラム

		A 会場(65 名)	B 会場(76 名)	C 会場(76 名)	D 会場(76 名)	E 会場(177 名)	ポスター会場
	9:00	一般講演 1	一般講演 2		S1 人間活動に伴う		揭示開始
		環境理念と政策	リサイクル工学 I		窒素のフローと		
		$(9:00 \sim 11:30)$	$(9:00 \sim 12:00)$		環境影響		
		奨励賞受賞記念講演			~学術賞受賞記念		
		竹内憲司			シンポジウム~		11:00 発表開始
		$(11:30 \sim 12:00)$			新藤純子		
	12:00						$12:30 \sim 14:00$
	13:30						コアタイム
9	14:00	一般講演3	一般講演 4	S3 中・長期の目標	S4 持続可能な社		
月		環境政策・環境行政	奨励賞受賞記念講演	達成にむけた地球	会を目指すため		14:15 投票終了
10		$(14:00 \sim 16:00)$	小林 剛	温暖化対策の現状	の QoSL (クオリ		
日			$(14:00 \sim 14:30)$	と課題	ティー・オブ・サ		
(木)			環境動態と改善技術		スティナブルライ		
			$(14:30 \sim 16:00)$		フ)の評価		
	16:15					特別講演	
						$(16:15 \sim 17:30)$	
						間野 勉	
	17:30					表彰式	
						学会賞受賞記念講演	
						井村秀文	
	18:30 懇親会 (若手育成委員会表彰式を含む) 18:30 ~ 20:30 「北海道大学工学部食堂」1F						1F

	9:00	一般講演 5 リサイクル工学 Ⅱ (9:00 ~ 11:30)	一般講演 6 環境評価と計画 (9:00~11:30)		S6 化学物質環境 リスクの包括的管 理における研究 課題		
9 月	11:30					市民公開 特別講演 (11:30~13:00) 北野 大	
11 日 (金	13:30	一般講演 7 リスク管理と人体影響 (13:30~16:00)		一般講演 9 環境情報全般 (13:30~15:15)	S2 リデュース・ リユースの取り組 みとその評価		
	16:00						ポスターは 16:00 までに撤 去願います

一般 講演

(座長については交渉中ですので、変更する場合があります。)

第1日目(9月10日)午前

A 会場 (A11 講義室) 環境理念と政策 (09:00~12:00)

座 長: 鶴見 実(弘前大・院・理工) 09:00~10:30

- 1A-0900 環境創造学事始 教育現場を通した実践活動 ○白山 肇 (大東文化大)
- 1A-0915 環境政策形成過程への環境 NPO の参加の現状と制度化に向けた考察 (藤村コノヱ (東工大・院・社理工), 増井利彦 (国環研)
- 1A-0930 自然共生を理解する新しい枠組み ○大場 真, 王 勤学, 村上正吾, 中根英昭(国環研・アジア自然共生)
- 1A-0945 環境リスクの参加型教育プログラムの開発 ○金澤伸浩(秋田県大・システム科技)
- 1A-1000 企業の CSR 活動の評価 ○鈴木美恵, 鶴見 実(弘前大・院・理工)
- 1A-1015 Dynamic impacts of urbanization on total and sectoral energy consumption : A cross-country analysis

 Phetkeo POUMANYVONG. 金子慎治(広島大・院・国際協力)
- 座 長: 亀屋隆志(横国大・院・環境情報) 10:30~12:00
 - 1A-1030 持続可能な地域のための環境方針と指標構築の試み ○蒲原新一,石橋康弘(長崎総科大),早瀬隆司(長崎大)
 - 1A-1045 産業廃棄物処理施設を対象とした安心につながる情報共有手法の高度化 ○伊原克将, 古市直斗, 切川卓也, 村岡元司, 小野田弘士, 永田勝也 (早大)

 - 1A-1115 Estimating the Sustainability of Unit-Based Pricing Using Panel Data () 確井健寛(創価大・経済)
 - 1A-1130 11:30 ~ 12:00 奨励賞受賞記念講演:環境と健康リスクの経済的評価 ○竹内憲司(神戸大・院・経済)

B会場 (A13 講義室) リサイクル工学 I (09:00 ~ 12:00)

- 座 長: 迫田章義 (東大・生研) 09:00~10:30
 - 1B-0900 廃プラスチック及び廃 PET ボトルを対象とした循環圏形成に関する要因分析 ○藤山淳史、松本 亨 (北九州市大)
 - 1B-0915 国内エコタウンにおける循環効果の評価についての研究 ○藤田 壮. 陳 旭東(国環研)
 - 1B-0930 ベトナム・ハノイ市の飲料水容器 (四蔵茂雄(舞鶴高専),原田秀樹(東北大)
 - 1B-0945 パーソナルコンピュータ用電子部品に含有される金属元素分析(Ⅱ) ○中澤克仁、胡 勝治(富士通研究所)
 - 1B-1000 高温高圧水による馬鈴薯澱粉粕の有価物化 ○齊藤秀之、橘 隆一、藤江幸一(横国大・院・環境情報)
 - 1B-1015 下水汚泥の処理方式の物質・エネルギー収支解析
 - ○尾崎雄飛. 橘 隆一. 藤江幸一(横国大·院·環境情報)

- 座 長: 藤江幸一(横国大・院・環境情報) 10:30~12:00
 - 1B-1030 野外実験による廃食用油木材防腐剤の環境影響評価
 - ○楠井隆史(富県大・工・環境工), 栗崎 宏(富山農水総合技術セ・木材研)
 - 1B-1045 バイオマス利活用システム設計支援ツールを用いたバイオマスタウン構想の策定
 - 〇高山光弘((株)総合環境研),近藤弘章(いであ(株)),望月和博,迫田章義(東大·生研)
 - 1B-1100 千葉県香取市の農畜産地域バイオマス利用実証プラントにおけるマテリアルフロー ○望月和博(東大・生研), 阿部邦夫(農事組合法人和郷園), 柚山義人(農研機構・農工研), 迫田章義(東大・生研)
 - 1B-1115 バイオマス炭化装置からの熱回収による小規模バイオエタノールプロセスへのエネルギー供給 〇銭 慶栄、小林伸一、望月和博、迫田章義(東大・生研)
 - 1B-1130 スギ林地残材の含水率予測モデル
 - ○寺岡行雄. 合志知浩 (鹿大・農)
 - 1B-1145 オンサイト型堆肥化装置を用いた食品廃棄物の地域循環システムの評価
 - ○竇 応瑛、松本 亨、薛 咏海(北九州市大)

第1日目(9月10日)午後

A 会場(A11 講義室) 環境政策・環境行政 (14:00~16:00)

座 長: 田崎智宏(国環研) 14:00~15:00

- 1A-1400 オランダと日本におけるバイオ燃料に関わる利害関係者が持つ持続可能性の基準について,政策決定過程からみた評価手法の開発
 - ○小西友子 (産総研・安全科学研・素材エネルギー)
- 1A-1415 DEA を用いた森林組合の経営効率性分析

栗山昭久、○阿部直也(東工大・理工・国際開発工)

- 1A-1430 鳥取県における低炭素エネルギー供給の可能性に関する研究
 - ○立花潤三 (鳥取県産技センター), 迫田章義 (東大・生研), 稲永 忍, 門脇 亙, 山田 強, 玉井博康 (鳥取県産技センター), 鈴木基之 (放送大)
- 1A-1445 Japanese Wind Farm and Tourism International Comparison On The Planning of Wind Farm ○瀬川久志(東海学園大)
- 座 長: 小西友子(産総研) 15:00~16:00
 - 1A-1500 国際漁業管理レジームにおける生態系アプローチの具体化: 南極の海洋生物資源の保存に関する委員会(CCAMLR)の事例を中心に
 - ○大久保彩子(東大・先端研)
 - 1A-1515 災害廃棄物の効率的・効果的処理システムの提案
 - ○舟橋真正、半井悠太、鈴木康允(金沢工大・情報フ)
 - 1A-1530 「地域気候政策」の取組段階評価の試み 日独米気候政策自治体パートナーシッププロジェクトより
 - ○杉山範子(名古屋大・院・環境)
 - 1A-1545 ロンドン条約議定書改正に見る交渉アクターに関する基礎的考察
 - ○瀬川恵子 (環境省環境保健部)

B会場(A13 講義室) 環境動態と改善技術 (14:00~16:00)

座 長: 西森基貴 (農環技研) 14:00~15:00

1B-1400 14:00 \sim 14:30

奨励賞受賞記念講演:有害化学物質の土壌汚染の評価および自主管理に関する研究

○小林 剛 (横国大·院·環境情報)

1B-1430 光触媒シートを利用した低コスト汚染土壌浄化方法の実証試験

○桐谷久恵,砂田香矢乃, 横山邦雄, 磯和俊男(東大·先端研), 橋本和仁(東大·院·工/東大·

先端研)

1B-1445 東京都狛江市における降水組成の経年変化

○藤田慎一, 速水 洋, 高橋 章 (電力中央研), 光瀬彦哲, 三浦和彦 (東京理科大), 出田智義 (電力テクノシステムズ)

座 長: 佐藤一男 (電力中央研) 15:00~16:00

1B-1500 農業地帯を流れる河川とその河口・沿岸海洋の環境と温室効果気体の動態

○窪田千穂(酪農学園大・院・酪農),河島弘幸,土屋 愛,吉田 磨(酪農学園大・環境システム)

1B-1515 閉鎖性水域におけるリンの動態調査

○黒石主税,石橋康弘,中道隆広(長崎総科大·院),蒲原新一(長崎総科大),宮原和明(長崎総科大・院)

1B-1530 富山県,立山山地における植生モニタリングにより検出された5年間の植生変化とその解釈 ○小島 覚(北方生態環境研究学房)

1B-1545 現行使用農薬の長距離移動性と環境中残留性を指標にした一次スクリーニング () 西森基貴、小原裕三(農環技研)、魏 永芬(岐阜大・流域科研セ)

第2日目(9月11日)午前

A 会場(A11 講義室) リサイクル工学 II (09:00~11:30)

座 長: 松藤敏彦(北大) 09:00~10:15

2A-0900 LCA 及びマテリアルフローコスト会計による農産物用輸送資材の評価

○瀬脇康弘,松本 亨(北九州市大),大石高也(大石産業(株)),馬場紀子,江島亜祐子(福岡県農総試験場),白石敏則,椎木伸幸(大石産業(株))

2A-0915 資源循環システムのライフサイクルアセスメントに関する研究 (BAS 評価ソフトの改良と個別施設における活用例)

○皆川雅志、小西洋紀、小沢俊明、胡 浩、小野田弘士、永田勝也(早大)

2A-0930 下水処理インフラの更新マネジメントによる熱分解オイル化技術の導入効果に関するシナリオ 分析

〇山本祐吾 (阪大・院・工), 古野間達 (鹿島建設), 吉田 登 (和大・シス工), 盛岡 通 (関大・環都工)

2A-0945 高温好気性菌を利用した有機性廃棄物可溶化技術の研究

○中道隆広,宮城彰平(長崎総科大·院),藤崎浩嗣(長崎総科大),甲斐穂高(日本分析化学専校), 石橋康弘(長崎総科大・院)

2A-1000 ライフサイクル評価による飲料水利用のシナリオ分析

○三木暁子 (東大·院·化学), 中谷 隼 (東大·院·都市工), 平尾雅彦 (東大·院·化学)

座 長: 吉田 登(和大・シス工) 10:15~11:30

2A-1015 環境効用ポテンシャル評価手法の開発

○中嶋崇史, 壷内良太, 石野卓也, 小野田弘士, 永田勝也(早大)

2A-1030 県単位のマテリアルフローにおける環境負荷量と経年変化の推計と産業構造の分析

○近藤浩正,橘 隆一,藤江幸一(横国大・院・環境情報)

2A-1045 「薄膜シリコンハイブリッド太陽電池」を用いたモデル住宅用太陽光発電システムの運用評価 ○ 趙 光龍、佐藤邦夫、福島崇志、王 秀崙 (三重大・院・生物資源)

2A-1100 モデル住宅用太陽光発電システムのライフサイクル分析と CO。排出削減効果

○趙 光龍, 佐藤邦夫, 福島崇志 (三重大・院・生物資源), 野村卓司 ((株) カネカ)

2A-1115 太陽電池の 3R 評価モデルの構築

○瀧口博明(環境省地球環境局) 森田一樹(東大・生産研)

B会場(A13 講義室) 環境評価と計画 (09:00~11:30)

- 座 長: 松本 亨(北九州市大) 09:00~10:15
 - 2B-0900 統合型都市環境フラックス解析モデルを用いた都市緑化による空調負荷削減効果の算定 ○濱野裕之,中山忠暢,藤田 壮,田上浩孝(国環研),堀 紘子(東洋大)
 - 2B-0915 低炭素型移動行動選択に影響する地域満足度意識の構造に関する研究 ○川本清美(北海道教大), 井村秀文(名古屋大・院), 奥田降明(名古屋大)
 - 2B-0930 「持続可能な発展」に関わる物的指標の将来値の推計方法に関する研究 ○時松宏治(エネ総研,産総研),小杉隆信(立命大・政策科学),井伊亮太(パシフィックコンサルタンツ),村上進亮(東大・エ・システム創成),伊坪徳宏(東京都市大・環境情報)

 - 2B-1000 富士ライトレールにおける乗換要因分析に関する研究 ○浅田真毅 (大阪大・院・環境エネルギー), 盛岡 通 (関西大), 町村 尚, 加藤 悟, 松井孝典, 織田朝美 (大阪大)
- 座 長: 齊藤 修 (早大) 10:15~11:30
 - 2B-1015 LRT 整備に伴うライフサイクル CO₂ の推計 柴原尚希, ○上宮田裕, 森本涼子, 加藤博和(名古屋大・院・環境)
 - 2B-1030 草地圃場整備による外部費用削減の経済評価 ○伊藤寛幸((株) ルーラルエンジニア), 増田清敬(滋賀県大), 山本康貴(北大)
 - 2B-1045 米国アリゾナ州フェニックス市 Sonoran Preserve Master Plan についての事例研究 ○永野亜紀(九大・院・芸術工)
 - 2B-1100 Decision Rule Mining concerning Responses to Ecosystems in Industrial Sectors by Rough Sets Analysis
 - 〇松井孝典、織田朝美、Robert N.SHAW、加藤 悟(大阪大·工·環境)、盛岡 通(関西大·工)
 - 2B-1115 企業の環境配慮型生産・調達活動に関する評価分析 ○孫 穎 (国環研・アジア自然共生), 藤田 壮 (国環研・アジア自然共生), ZhuQingHua (大連理工大)

第2日目(9月11日)午後

A 会場(A11 講義室) リスク管理と人体影響 (13:30~16:00)

- 座 長: 荒巻俊也 (東洋大学) 13:30~15:00

 - 2A-1345 各種土壌くん蒸剤による農地周辺の健康リスクの推算 ○ 莅戸翔一 (横国大・院・環境情報), 小林 剛 (横国大・安心安全セ/横国大・院・環境情報), 三宅祐一 (横国大・安心安全セ), 亀屋隆志 (横国大・院・環境情報)
 - 2A-1400 化学物質の網羅的な曝露シナリオ情報の抽出と整理 ○三宅祐一(横国大・安心安全セ), 小林 剛(横国大・安心安全セ/横国大・院・環境情報), 畠山周作(横国大・工), 酒井 実, 亀屋隆志(横国大・院・環境情報)
 - 2A-1415 難燃剤のリスクトレードオフ解析のためのマテリアルフロー解析 ○恒見清孝、川本朱美((独)産総研)
 - 2A-1430 マテリアルフロー解析による環境排出量推計手法の確立 (その1) 排出シナリオ文書作成のための樹脂別,製品別の国内樹脂需要量推定 (作下宗一,西野 近((株)三菱化学テクノリサーチ),恒見清孝(産総研・安全科学),勝俣晴雄((株)三菱化学テクノリサーチ)
 - 2A-1445 マテリアルフロー解析による環境排出量推計手法の確立(その 2) 排出シナリオ文書作成の ための樹脂添加剤の使用率・配合割合の推定

勝俣晴雄, 西野 近((株) 三菱化学テクノリサーチ), 恒見清孝(産総研・安全科学), ○竹下宗一((株) 三菱化学テクノリサーチ)

座 長: 恒見清孝((独) 産総研) 15:00~16:00

2A-1500 中国での大気汚染・温暖化対策がわが国にもたらす微粒子汚染の軽減とその健康便益 ○村尾直人、眞田あすみ、太田幸雄、山形 定(北大・院・工)

2A-1515 重金属 (Cd, Zn, Cu, Au, Ag) 投与後のラット肝臓サイトゾール中での重金属の蓄積における メタロチオネインの役割

○齋藤 秀 (東海大・生物理工)

2A-1530 東京工業大学における PRTR 対象物質等データベースの実態とその課題 阿部直也. ○ 卞 佳興 (東工大・理工・国際開発工)

B会場(A13 講義室) 地球環境(13:30~15:45)

座 長: 市ノ瀬愼一(福岡教育大) 13:30~14:45

2B-1330 $13:30 \sim 14:00$

論文賞受賞記念講演: IPCC 排出シナリオ (SRES) にもとづいた世界の食料必要量の長期推計 ()棟居洋介 (東丁大・社会理丁)・増井利彦 (国環研・社会環境システム)

2B-1400 単位面積当たり穀物収量と降水量の影響評価 ○松村寛一郎, 客野尚志 (関西学院大), 杉本賢二 (東大・院・新領域), 呉 文斌 (中国農業 科学院)、李 亮源、柴崎亮介 (東大・空間セ)

2B-1415 MODIS 衛星データを用いた中国の土地被覆類型別の炭素固定量算定 ○王 勤学 (国環研)

2B-1430 Mid-term Dynamic Effects of Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon 〇松本健一,增井利彦(国環研)

座 長: 松村寛一郎 (関西学院大) 14:45~15:45

2B-1445 東南アジア熱帯雨林の一斉開花現象に及ぼす環境ストレス効果 ○市ノ瀬愼一(福岡教育大)

2B-1515 地球温暖化による熱中症リスクの予測に関する研究 - 東京都八王子市を対象にして -(関本葉月、中口毅博(芝浦工大)

2B-1530 大型オープントップチャンバーを用いた高温・高 CO₂ が土壌呼吸に及ぼす影響評価 ○中根周歩,王 新,賈 磊,田上公一郎(広島大・生物圏科学)

C 会場(A33 講義室) 環境情報全般(13:30~15:15)

座 長: 前田恭伸(静岡大) 13:30~14:15

2C-1330 「緑の都市圏域」による環境立国と環境 ICT ○中根英昭(国環研・アジア自然共生)

2C-1345 原子力発電リスクによる心理的負担の計測: 震災と住民参加型原子力防災を考慮して ○加藤尊秋(北九州市大・国際環境工)

2C-1400 下水汚泥由来の再生可能燃料への社会的認識に関する分析 ○吉田 登(和大・シスエ), 山本祐吾(阪大・院・エ), 盛岡 通(関大・環境都市工)

- 座 長: 加藤尊秋(北九州市大・国際環境工) 14:15~15:15
 - 2C-1415 事故・ヒヤリマップシステムの開発 ○根岸貴紀(早大・環境エネ), 山本祐司(早大・理工), 切川卓也, 小野田弘士(早大環境総研), 永田勝也(早大・環境エネ)
 - 2C-1430 街の美化活動への継続的参加とコスト・ベネフィットおよび機会の関係
 ○森 保文 (国環研), 犬塚裕雅 (NPO 法人 CoCoT), 前田恭伸 (静岡大), 淺野敏久 (広島大), 杉浦正吾 (筑波大)
 - 2C-1445 環境ボランティア獲得のための情報提供システム
 ○前田恭伸(静岡大)、森 保文(国環研)、伊藝直哉(インテージ)、犬塚裕雅(NPO 法人 CoCoT)、淺野敏久(広島大)、杉浦正吾(筑波大)、井田国宏(中外炉工業)
 - 2C-1500 大気汚染物質の観測データを Web 地図表示する手法の検討とツールの開発 ○小沢 恵(シグマトロン (株)),豊木博泰(山梨大・院・医工),片谷教孝(桜美林大)

企画シンポジウム

(現在調整中のものを含みます)

【 1日目 】

シンポジウム1 9月10日(木) D会場 9:00~12:00

学術賞受賞記念シンポジウム

「人間活動に伴う窒素のフローと環境影響 |

オーガナイザー 新藤純子 ((独)農業環境技術研究所 物質循環研究領域)上席研究員

代表者挨拶:新藤純子 ((独) 農業環境技術研究所 物質循環研究領域) 上席研究員

主 旨:食料生産や化石燃料の利用に伴って排出される窒素は、様々な環境問題の原因となる。経済発展の進む東アジアにおいて、窒素の環境への負荷が現在環境にどの様な影響を及ぼしているのか、今後どの様に推移するのか等について議論する。

講演者:①「東アジアの食料生産・消費に伴う窒素フローの変化と環境影響|

新藤純子((独)農業環境技術研究所)

②「中国農生態系における窒素フローの変動および水環境への影響評価」 劉 晨((独)国立環境研究所)

③「21世紀におけるアジアの食料需給と窒素収支」

川島博之(東京大学)

- ④「中国と日本の森林域における大気由来窒素負荷と土壌水・渓流水質との関係」 戸田任重 (信州大学)
- ⑤「東アジアにおける窒素沈着負荷の環境影響と将来 - 中国亜熱帯に始まった著しい牛熊系酸性化- |

楊 宗興 (東京農工大学)

⑥「北海道北部の天然林生態系における窒素動態と河川水質形成」 柴田英昭(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)

シンポジウム3 9月10日(木) C会場 13:30~16:15

「中・長期の目標達成にむけた地球温暖化対策の現状と課題」

オーガナイザー 中口毅博 (芝浦工業大学 環境システム学科) 教授

代表者挨拶:中口毅博 (芝浦工業大学 環境システム学科) 教授

主 旨:京都議定書の第一約東期間に入った現在,その目標達成とともに,2020年,2050年といった中長期目標が国際的に議論されているが,国際的には先進国,新興国,途上国の思惑が交錯し,合意に至っていないのが現状である。そのような中,日本政府や自治体においても,温暖化防止のための国内対策,地域政策が真剣に議論されている。特に自治体においては,野心的な中長期的目標を立てたり,温暖化対策防止のための条例を制定する自治体が出現している。本シンポジウムにおいては,政府や自治体がどのような政策プロセスを経て温暖化対策の推進に至っているのか,地域特性に応じた実効性のある対策を講じることができているのか,その現状と課題を明確にすることを目的とする。

講 演 者:①「自治体エネルギー政策マトリックスの視点」

田中 充(法政大学)

- ②「市区町村における温暖化対策の実施状況とその促進要因に関する分析」 中口毅博(芝浦工業大学)
- ③「サブナショナルな地域における長期の CO_2 削減ロードマップ」 竹内恒夫(名古屋大学)

- ④ 「温暖化対策の実行可能性評価試案
 - 環境モデル都市アクションプランを例に |

增原直樹 (環境自治体会議環境政策研究所)

- ⑤「実効性の観点からみた地球温暖化対策の地方自治体間での波及性の事例分析」 馬場健司((財)電力中央研究所)
- ⑥「『東京都気候変動対策方策』の先駆策に見る合意形成作用と政策波及の可能性」 青木一益(富山大学)

シンポジウム4 9月10日 (木) D会場 13:30~16:15

「持続可能な社会を目指すためのQoSL (クオリティー・オブ・サスティナブルライフ)の評価」

オーガナイザー 田原 譲(名古屋大学 エコトピア科学研究所)教授

代表者挨拶:田原 譲 (名古屋大学 エコトピア科学研究所)教授

音:安全・安心で豊かな美しい社会を将来にわたって持続的に発展させていくためには、地球環境 負荷を低減した環境調和型の理想社会「エコトピア」の実現が必須である。名古屋大学エコト ピア科学研究所では、「エコトピア」の実現度や貢献度を評価するための新たな指標(エコト ピア指標)構築に向けて、様々なプロジェクト研究を進めている。本シンポジウムでは、この エコトピア指標を構築する上で非常に重要となる QoSL (クオリティー・オブ・サスティナブ ルライフ)という新しい概念の下、ヒューマンファクターや豊かさの評価項目としての経済・ 社会・健康・心理の各項目の導入方法や評価方法などについて検討することを目的とする。

講 演 者:①「エコトピア指標構築に関する研究」

林 希一郎 伊東英幸 藤井 実 (名古屋大学エコトピア科学研究所)

②「持続可能性指標」の類型・評価・適用

金子慎治(広島大学)

藤川清史(名古屋大学エコトピア科学研究所)

③「エコトピア指標開発に向けた健康影響評価 |

藤野善久 (産業医科大学)

④「幸福の経済分析|

馬奈木俊介, 倉増 啓, 鶴見哲也 (横浜国立大学) 林 希一郎 (名古屋大学エコトピア科学研究所)

【 2日目 】

シンポジウム2 9月11日(金) D会場 13:30~16:00

「リデュース・リユースの取り組みとその評価」

オーガナイザー 馬奈木俊介 (横浜国立大学 経営学部) 准教授

代表者挨拶:馬奈木俊介 (横浜国立大学 経営学部)准教授

主 旨:容器包装でブランド強化が可能となるのかについて、実際の社会実験を通した分析結果を提示 し、今後の可能性について議論する。

講演者:①「2R(リデュース・リユース)による容器包装削減効果の計測と発生抑制デザイン」 田崎智宏((独)国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター)

- ②「Public Marketing Approach による容器包装の発生抑制:減装(へらそう)実験」 石川雅紀(神戸大学 経済学研究科)
- ③「簡易包装商品の需要に対する環境コミュニケーションの効果」 山口恵子(岡山大学 大学院社会文化科学研究科)

④「リデュースの取り組みの経済学的評価 |

馬奈木俊介(横浜国立大学 経営学部)

⑤「リユースペットボトルが消費者に受け入れられるための方策」 沼田大輔(福島大学 経済経営学類)

シンポジウム5 9月11日(金) C会場 9:00~11:30

「バイオマス利活用技術とシステム」

オーガナイザー 高梨啓和 (鹿児島大学 大学院理工学研究科) 准教授

代表者挨拶:高梨啓和 (鹿児島大学 大学院理工学研究科) 准教授

主 旨:バイオマス・ニッポン総合戦略が平成18年に策定されて以来,国内ではバイオマスに関する 研究,事業が盛んに実施されてきている。もちろん海外においてもバイオマスは大変なブーム である。本シンポジウムでは、これまでのバイオマス研究の成果を振り返るとともに、今後の バイオマス利活用の方向性について議論することを目的とする。

講 演 者:①「プランテーションにおけるバイオマス生産の現状と課題(展望講演)|

藤江幸一(横浜国立大学 大学院環境情報研究院)

- ③ 「インドネシアでの BDF 生産の課題 |

山根重記((株)アイエスコーポレーション)

- ④「FAME の特性とディーゼルエンジンによる利用」 青木義則(ヤンマー(株)環境事業開発部)
- ⑤「FAME の高効率高速合成」

草壁克己 (福岡女子大学)

⑥「高電圧印加による粗製 FAME の精製」

高梨啓和 (鹿児島大学 大学院理工学研究科)

総合討論

シンポジウム6 9月11日(金) D会場 9:00~11:30

「化学物質環境リスクの包括的管理における研究課題 |

オーガナイザー 亀屋隆志 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院) 准教授

代表者挨拶: 亀屋隆志 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院) 准教授

主 旨:昨年から本年にかけて化学物質管理に関する2法が見直し、改正された。これに伴い、環境リスクの評価に基づく化学物質の包括的な管理がますます重要となる。行政や事業者がリスクベースでの環境管理を行うために何が必要で何が足りないか、その現状と課題について議論する。

講 演 者: <話題提供>

①「化管法見直し・化審法改正に伴う化学物質のリスク管理に向けて」 和田篤也(環境省化学物質審査室)

<緊急提言>

②「環境リスク評価の社会受容性の醸成を |

安井 至(製品評価技術基盤機構)

<緊急提言>

③「効果的な化学物質リスク管理に向けての一考察」

中杉修身((独)国立環境研究所特別客員研究員)

<話題提供>

④「地域での化学物質環境汚染リスクの把握と低減に向けた取り組み」 永洞真一郎(北海道環境科学研究センター 環境保全部)

<トピック>

<トピック>

⑥「消毒副生成物を考慮した農薬の管理」岸田美紗子(鹿児島大学 大学院理工学研究科)

ポスターセッション(一般・優秀発表賞)

掲示可能期間: 9月10日(木)09:15~9月11日(金)15:00(16:00までに各自撤去願います) コアタイム: 9月10日(木)12:30~14:00(発表者は必ずポスターの前に居てください)

- P-01 産業廃棄物処分場をめぐる住民運動のあり方を科学的測定から見る
 - ○大垣 旭·小松知貴 (河南高校), 畠山貴博 (初芝富田林高校), 久保光平 (四天王寺羽曳丘高校), 島 和嗣 (金剛高校), 澤田采佳 (西浦高校), 小松直登 (東住吉高校), 木村壮太郎 (藤井寺高校), 高倉弘士 (立命館大学), 畠山有理・畠山光弘 (畠山獣医科)
- P-02 発芽とカルンクルの関連性

〇畠山貴博(初芝富田林高校),久保光平(四天王寺羽曳丘高校),小松知貴·大垣 旭(河南高校), 島 和嗣(金剛高校),澤田采佳(西浦高校),木村壮太郎(藤井寺高校),小松直登(東住吉高校), 高倉弘士(立命館大学),畠山有理・畠山光弘(畠山獣医科)

- P-03 産廃ネットワーク三重の存在意義と問題点
 - 〇島 和嗣(金剛高校),畠山貴博(初芝富田林高校),大垣 旭·小松知貴(河南高校),久保光平(四天王寺羽曳丘高校),澤田采佳(西浦高校),小松直登(東住吉高校),木村壮太郎(藤井寺高校),高倉弘士(立命館大学),畠山有理・畠山光弘(畠山獣医科)
- P-04 産業廃棄物処理場をめぐる住民運動住民合意形成における科学的情報の意義
 ○久保光平(四天王寺羽曳丘高校),畠山貴博(初芝富田林高校),大垣 旭·小松知貴(河南高校),
 島 和嗣(金剛高校),澤田釆佳(西浦高校),木村壮太郎(藤井寺高校),小松直登(東住吉高校), 高倉弘士(立命館大学),畠山有理・畠山光弘(畠山獣医科)
- P-05 伊賀市産業廃棄物処分場水質汚濁等に係る調停申請事件公害等調整委員会調査結果報告における 住民指摘測定箇所の持つ意味
 - 〇小松知貴·大垣 旭(河南高校), 畠山貴博(初芝富田林高校), 島 和嗣(金剛高校), 久保光平(四天王寺羽曳丘高校), 澤田采佳(西浦高校), 小松直登(東住吉高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 高倉弘士(立命館大学), 畠山有理・畠山光弘(畠山獣医科)
- P-06 輪島の酸沈着に対する PMF 法と CWT 法の適用 ○石崎匡晃,村尾直人,太田幸雄,山形 定(北大・院・工)
- P-07 産業廃棄物処理施設に反対する運動の多角的考察

〇高倉弘士(立命館大学), 大垣 旭·小松知貴(河南高校), 畠山貴博(初芝富田林高校), 久保 光平(四天王寺羽曳丘高校), 島 和嗣(金剛高校), 澤田采佳(西浦高校), 小松直登(東住吉高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 畠山有理·畠山光弘(畠山獣医科)

- P-08 瀬戸内海(岡山県前島)の海産生物中の元素の測定 猫原 順, ○張 蒙(岡山理大・院・総合理学),山口一岩(岡山理大・工・生体医工),内田健介, 逸見和也. 八杉俊行(岡山理大・総・生地)
- P-09 消毒副生成物を考慮した農薬の管理 ○岸田美紗子, 隈部丈雄, 高梨啓和, 中島常憲, 大木 章 (鹿大・院・理工)
- P-10 マダガスカルを事例とした緑地環境保全と信仰心や価値観との関係性 ○藤田直子(森林総研)

- P-11 明治時代から現代にかけての日本の物質・エネルギーフローの変遷 ○蒲原弘継,三根智徳,杉田良介,後藤尚弘(豊橋技科大)
- P-12 Sr 及び V 量比を用いた富士山水系の湧水プロフィールの検討 ○松塚雅博、石川友美、関 健介、金子哲也(杏林大・保健)
- P-13 KML (Google Earth) を用いた地理情報データの発信
 ○白木洋平(立正大), 奥田 賢(京都大), 豊田知世, 谷口真人(地球研)
- P-14 自家用乗用車からの CO₂ 排出量増減要因の分析および考察 ○足立典子(名大・院・環境)
- P-15 臭素系難燃剤がもたらす TV 火災回避のベネフィットとリスク ○井上知也(横国大・院・環境情報学府), 益永茂樹, 大谷英雄(横国大・院・環境情報研究院)
- P-16 千葉県下総台地における表流水の硝酸態窒素濃度の時空間分析 ○郡 佑輔(千葉大・院・理学),近藤昭彦(千葉大・環境リモートセンシング研セ)
- P-17 工業用洗浄剤の代替に対するリスクトレードオフ解析のための環境排出量推定手法 ○梶原秀夫, 高井 淳 (産総研・安全科学)
- P-18 Mid-term Dynamic Effects of Carbon Tax Based on the Imputed Price of Carbon 〇松本健一. 増井利彦(国環研)
- P-19 統合化指標 ELP を応用したライフスタイルアセスメントに関する検討

 ○松尾圭一郎、村田寿見雄、溝田将吾、武者英之、永井祐二、小野田弘士、永田勝也(早大)
- P-20 農業地帯を流れる河川とその河口・沿岸海洋の環境と温室効果気体の動態 ○窪田千穂(酪農学園大・院・酪農),河島弘幸,土屋 愛,吉田 磨(酪農学園大・環境システム)
- P-21 富士ライトレールにおける乗換要因分析に関する研究 ○浅田真毅 (大阪大・院・環境エネルギー), 盛岡 通 (関西大), 町村 尚, 加藤 悟, 松井孝典, 織田朝美 (大阪大)
- P-22 高温好気性菌を利用した有機性廃棄物可溶化技術の研究 ○中道隆広,宮城彰平(長崎総科大・院),藤崎浩嗣(長崎総科大),甲斐穂高(日本分析化学専校), 石橋康弘(長崎総科大・院)
- P-23 オランダと日本におけるバイオ燃料に関わる利害関係者が持つ持続可能性の基準について、政策決 定過程からみた評価手法の開発 〇小西友子(産総研・安全科学研・素材エネルギー)
- P-24 産業廃棄物処理施設を対象とした安心につながる情報共有手法の高度化 ○伊原克将, 古市直斗, 切川卓也, 村岡元司, 小野田弘士, 永田勝也 (早大)
- P-25 地球温暖化による熱中症リスクの予測に関する研究 東京都八王子市を対象にして 〇関本葉月、中口毅博(芝浦工大)

- P-26 閉鎖性水域におけるリンの動態調査 ○黒石主税,石橋康弘,中道隆広(長崎総科大·院),蒲原新一(長崎総科大),宮原和明(長崎総科 大・院)
- P-27 LRT 整備に伴うライフサイクル CO₂ の推計 柴原尚希. ○上宮田裕. 森本涼子. 加藤博和 (名古屋大・院・環境)
- P-28 廃プラスチック及び廃 PET ボトルを対象とした循環圏形成に関する要因分析 ○藤山淳史,松本 亨(北九州市大)
- P-29 LCA 及びマテリアルフローコスト会計による農産物用輸送資材の評価 ○瀬脇康弘,松本 亨(北九州市大),大石高也(大石産業(株)),馬場紀子,江島亜祐子(福岡 県農総試験場),白石敏則,椎木伸幸(大石産業(株))
- P-30 オンサイト型堆肥化装置を用いた食品廃棄物の地域循環システムの評価 ○竇 応瑛、松本 亨、薛 咏海(北九州市大)
- P-31 環境効用ポテンシャル評価手法の開発 ○中嶋崇史, 壷内良太, 石野卓也, 小野田弘士, 永田勝也 (早大)
- P-32 事故・ヒヤリマップシステムの開発 ○根岸貴紀(早大・環境エネ),山本祐司(早大・理工),切川卓也,小野田弘士(早大環境総研), 永田勝也(早大・環境エネ)
- P-33 Dynamic impacts of urbanization on total and sectoral energy consumption: A cross-country analysis

 O Phetkeo POUMANYVONG. 金子慎治(広島大・院・国際協力)
 - ATM ボックスの屋上緑化による温度の制御効果及び消費電力の削減効果

○皮 玲. 中根周歩(広島大・生物圏科学)

P-34

- P-35 県単位のマテリアルフローにおける環境負荷量と経年変化の推計と産業構造の分析 ○近藤浩正、橘 隆一、藤江幸一(横国大・院・環境情報)
- P-36 下水汚泥の処理方式の物質・エネルギー収支解析 ○尾崎雄飛, 橘 隆一, 藤江幸一(横国大・院・環境情報)
- P-37 東京工業大学における PRTR 対象物質等データベースの実態とその課題 阿部直也. ○卞 佳興(東工大・理工・国際開発工)
- P-38 高温高圧水による馬鈴薯澱粉粕の有価物化 ○齊藤秀之,橘 隆一,藤江幸一(横国大・院・環境情報)
- P-39 ライフサイクル評価による飲料水利用のシナリオ分析 ○三木暁子 (東大・院・化学), 中谷 隼 (東大・院・都市工), 平尾雅彦 (東大・院・化学)

P-40 各種土壌くん蒸剤による農地周辺の健康リスクの推算

○莅戸翔一 (横国大・院・環境情報), 小林 剛 (横国大・安心安全セ/横国大・院・環境情報), 三宅祐一 (横国大・安心安全セ), 亀屋隆志 (横国大・院・環境情報)

P-41 企業の環境配慮型生産・調達活動に関する評価分析

○孫 穎(国環研・アジア自然共生),藤田 壮(国環研・アジア自然共生),ZhuQingHua(大連理工大)

(社)環境科学会 2009 年会 特別講演プログラム

【 1月目 】

特別講演:

9月10日(木) E 会場 16:15~17:30

「ヒグマと知床世界自然遺産」

講 師: 間 野 勉(北海道環境科学研究センター)

自然環境部主任研究員

【 2月目 】

市民公開特別講演:

9月11日(金) E 会場 11:30~13:00

「エネルギーと環境問題」

講 師: 北 野 大(明治大学 理工学部)教 授